

平成18年度実績評価事務事業進行管理表

事務事業名	文化財保護事業補助金(白山社)				財務会計上の位置付け	会計	款	項	目	細目	細々目	19予算額(千円)
部等名	教育委員会	課等名	生涯学習・スポーツ課		包含する細々目	1	10	5	3	10	1	
政策	6 地域の自然・歴史・文化を活かし続けるまちづくり											
施策	63 地域資産の保存継承											
実施区分	継続	会計	一般会計	環境調整会議		必要						
		事業期間	12	年度～	19	年度						
												文化財保護法 県文化財保護条例 飯田市文化財保護条例・同施行規則 飯田市文化財保護事業補助金交付要綱

【Do】(1)この事務事業は次の目的を達成することを目指します。

目的の記述	対象(人や物、自然資源など)	対象の大きさを表す対象指標名と単位	対象指標の数値				
	白山社奥社	国・県・市指定文化財(件)	現状又は19年度見込	23年度又は終了年度	23年度以前に終了は終了年度とする		
			4		4		
			現状又は19年度見込	23年度又は終了年度			
	意図(成果は何か、対象をどうかえるか)	成果達成度を表す成果指標名と算定式・単位	成果指標の数値(実績・目標)				
	文化財を良好な状態で保存する。	改修面積	18目標	10	最終目標	30	19
			18実績	10	19目標		↑
			23目標		23実績		最終目標達成年度
		除伐した危険木	18目標	3	最終目標	3	19
		18実績	3	19目標	0	↑	
		23目標		23実績		最終目標達成年度	

(2)意図を達成するために以下のことを取り組みます。

手段の記述	事業の全体概要(補足説明)	具体的活動内容(やり方、手順、詳細)	活動量を表す名称・単位	活動量の値
	指定文化財の管理及び保護のために行う事業。指定文化財の保護事業のうち、文化財保護法の規定による国の補助金交付を受けた事業 飯田市文化財保護条例の規定による指定文化財の管理及び保護のために行う事業(保存修理工事)について、飯田市文化財保護事業補助金交付要綱に基づき補助する事業である。平成16・17年度に白山社修理委員会が実施する重要文化財白山社奥社本殿と市指定文化財奥社拝殿・幣殿の保存修理工事に對し、補助金を交付する。補助金は平成17年度で終了したが、付帯工事を残しており、平成18・19年度は本殿周辺の倒れる可能性のある危険木について、伐採を行うとともに隨身門の屋根葺き替えが予定されており、事務支援を行う。	危険木伐採事業等の事務支援・伐採実施 隨身門の保存修理工事設計監理事務支援	伐採した危険木の数(本)	3
	18年度の実績			
	19年度計画	隨身門の保存修理工事実施 見学会の開催		

<金額の単位:千円>		18決算額(見込)	19予算額(当初)
事業費	特定財源		
	国庫支出金		
	県支出金		
	起債		
	その他		
一般財源			
事業費計(A)		0	0
人件費	正規職員所要時間	18年度 800	19年度 100
	臨時職員等所要時間		
	人件費計(B)	2,861	358
	トータルコストA+B	2,861	358

特定財源内訳や補足事項	
-------------	--

(3)この事業目的の達成は、次の上位(施策や主体の役割)目的の達成に結びつきます。

目的の記述	結果 この事務事業の施策(基本事業)の目的	上位成果指標(施策又はムトス指標)と単位	上位成果指標の数値			
	保存・継承される(活かし続ける)	支援の数(保存団体等への資金等の支援数)	現状値	30	19実績	
			20実績		21実績	
			22実績		23目標	36
		保存・継承している地域資産の数	現状値	436	19実績	
			20実績		21実績	
		22実績		23目標	520	

<p>この事業を開始したきっかけ</p> <p>平成元年に飯田市文化財保護補助金交付要綱が施行されたことに基づく事業である。</p>	<p>事業を取り巻く状況の変化</p> <p>指定文化財修理等に関しては、国・県・市の補助制度がある。15年度からは国の補助事業に対する県費補助が廃止された。しかし、平成18年度新たに設けられた信州ルネッサンス革命推進事業支援金に幣殿・拜殿保存修理工事等を申請し、2,370,000円の交付を受けている。奥社の本体工事は平成17年度に終了しているが、周辺環境整備が課題として残されている。</p>	<p>事業に対する市民や議会の意見</p> <p>地元にある文化財を保存伝承するため、地元の丸山連合自治会と白山社総代会は、修理委員会を組織し、事業を進めている。指定文化財の管理については所有者の負担を求めているが、その軽減を求められている。</p>
---	---	--

【See】18年度の振り返り

<p>目的 妥当性 評価</p>	<p>この事業の意図の達成が、結果(上位目的)に結びついていますか？</p>	<p>(評価) 結びつく (その理由) 補助金の導入や事務支援により所有者の負担が軽減され、白山社奥社は保存修理工事が終了し良好な状態に保たれ、地域資産の保存継承に繋がっている。</p>	<p>成果をさらに向上させる余地はありますか？</p>	<p>(評価) 余地がない (その理由) 文化庁の指導に沿って保存修理工事を実施しており、余地は無い。</p>
	<p>対象の見直し、拡大、縮小の必要性はありますか？</p>	<p>(評価) 必要性がない (その理由) 指定文化財の保存修理工事である。</p>	<p>有効性評価 廃止・休止した場合の影響はありますか？</p>	<p>(評価) 影響あり (その理由) 適切な文化財の保護が図れず、文化財の損失を招く。</p>
	<p>意図の見直しの必要性はありますか？</p>	<p>(評価) 必要性がない (その理由) 文化財保護法に基づく国民の共有財産としての文化財を保護することが目的であり、見直しの必要は無い。</p>	<p>他に類似事業はありますか。また統合の可能性はありますか(市以外の取組も含む)</p>	<p>(評価) 類似事業なし (類似事業名、理由)</p>
	<p>市が関与する必要性はありますか？(市が税金を投入すべき事業ですか)</p>	<p>(評価) 必要ある (その理由) 文化財保護法に基づく国民の共有財産としての文化財の保護については、市が関与すべきである。</p>	<p>効率性評価 成果を下げずに、事業費や人件費の削減は可能ですか？</p>	<p>(評価) 不可能 (その理由) 人件費は削減不可能</p>
			<p>公平性評価 受益者は誰ですか？また、負担の是非、程度は妥当ですか？</p>	<p>(評価) 妥当である (受益者とその理由) 受益者は市民および国民である。所有者の負担は当然であり、補助金については市の要綱に基づいており、妥当である。</p>

【Plan】改革改善

<p>今後の事業の方向性</p> <p><input type="checkbox"/> 終了 <input type="checkbox"/> 廃止 <input type="checkbox"/> 休止 <input type="checkbox"/> 目的見直し <input type="checkbox"/> 別事業に統合 <input type="checkbox"/> 事業のやり方改善 <input checked="" type="checkbox"/> 現状維持</p> <p>実施年度 19</p> <p>具体化</p>	<p>何を、いつまでにどうするのかの改革改善案</p>
<p>上記の改革改善案を実施する際、想定される課題とその克服方法</p>	<p>立地条件からして原材料輸送の経費が問題となるが、地区住民等の協力を得る必要がある。</p>

【補足事項環境側面】

<p>(1) 環境影響評価の必要性判断</p>	<p>必要性がない</p>	<p>(2) 必要性な場合の実施事由</p>
<p>(3) どのような点に配慮し事業に取り組みましたか？</p>		

【指摘事項】

<p>施策マネジメント会議</p>	
<p>施策評価会議</p>	
<p>第5次基本構想基本計画推進委員会</p>	